

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 都筑製作所					
代表者名	氏名	栗田 有樹	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県埴科郡坂城町坂城6649-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・四輪車、二輪車及び船外機の機能部品の製造 (足回り重要保安部品、高精度ミッション部品) ・建設機械用の各種油圧機器、エンジン部品の製造及び機能保証 ・航空・宇宙産業用部品の製造 					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者 (足回り重要保安部品、高精度ミッション部品)				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3,877	3,920			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7,837				
	調整後排出量	t-CO ₂	7,428	7,331		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0				
自動車の台数	台	20				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	23				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度		年度					

3 計画書(報告書)の公表方法等

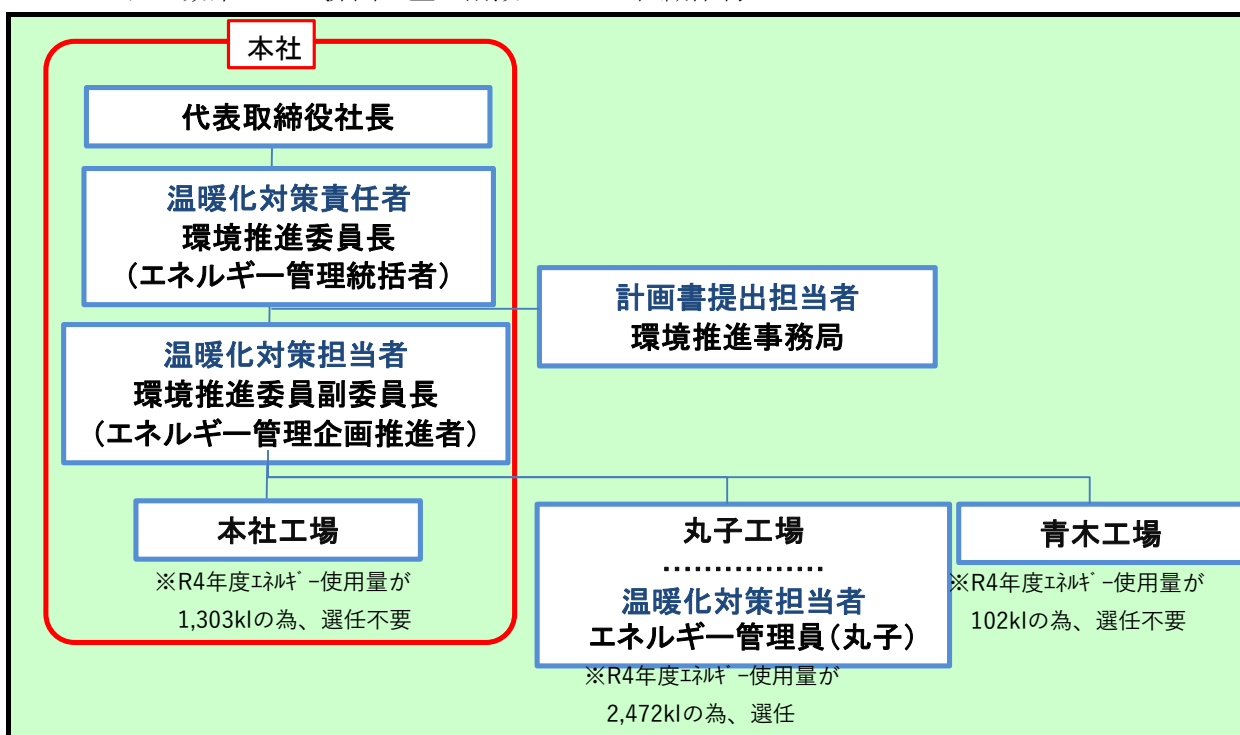
<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能時間：月曜日～金曜日 8:30～17:00 部署：経営企画室 TEL：0268-82-0821
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

<p>当社の環境方針に基づき、事業活動が環境に与える負荷を軽減し地球温暖化防止に努めると共に、起こり得るリスクに備えた活動により汚染の防止と生物多様性及び生態系の保護に努めます。</p>						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	CO2排出量46%削減 (2019年度比)
削減計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事量の変化、購入電力係数の低減を長期的に想定し削減想定量を算定。 ・ 太陽光発電を2019年40KW ⇒2022年490KW ⇒ 2030年1690KWと拡大設置し、基準年CO2の14.5%削減。また、削減1%以上/年の全社省エネ施策を継続し、基準年CO2の15.5%削減を狙う。計画と実態に中長期的な差異が生じた場合は、非化石証書・再エネ電力購入も検討を行う。 					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

<p>月次報告会 (月1回) 各課のKPI (評価指標) に基づいた活動の一部としてCO2削減施策の実施状況を報告</p>

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,837	t-CO ₂	付加価値	5,363.72	単位	百万円
2022年度	調整後排出量	7,428	t-CO ₂	基準原単位	1.46	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	7,331	t-CO ₂	目標原単位	1.42	t-CO ₂ /	百万円
2025年度	目標削減率	6.45	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	当社は2030年総排出量削減目標：2019年基準▲46%に基づく実行計画から、目標排出量を設定し活動する。						
第一年度	排出量		t-CO ₂	付加価値		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	付加価値		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	付加価値		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	23	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	熱源設備	本社厨房冷凍冷蔵庫更新 (管理部)	2023	7.47		
2	エネ起	ポンプ	丸子4クーリングタワーポンプ回転数見直し再トライ (製造技術課)	2023	7.02		
3	エネ起	給湯・給排水	本社食堂湯沸器更新 86期月平均90m ³ が電力で132kwh/月に省エネ化 (管理部)	2023	5.4		
4	エネ起	コンプレッサ	休日のコンプレッサー停止 (丸製3課)	2023	5.37		
5	エネ起	生産設備	アルミナックル生産性向上によるロス電力削減 (本製1課)	2023	5.17		
6	エネ起	照明設備	1工場 天井照明LED化 ※8月まで (本製3課)	2023	5.04		
7	エネ起	生産設備	5MX生産性向上によるロス電力削減 (本製1課)	2023	4.3		
8	エネ起	受変電・配電設備	丸子第2変電所更新 (生技1,2課)	2023	4		
9	自動車		開発_WEB会議、ウェビナー活用によるガソリン利用量の削減 (開発課)	2023	3.52		
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	492	800			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年	0	0			
うち県内産	千kWh/年	0	0			
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年	0	0			
FIT非化石証書 非FIT非化石証書 (再エネ指定)	千kWh/年	0	0			
うち県内産	千kWh/年	0	0			
J-クレジット	t-CO ₂ /年	0	0			
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年	0	0			
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	603	1,613			
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	912	0			
うち県内産	千kWh/年	0	0			

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0						
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,004						
1,500k1未満	2	2,833						
合計	3	7,837						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N ₂ O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃	0			
合計	0			

1.3 次世代自動車の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	10			
合計	10	0	0	0
自動車総数	20			
次世代自動車導入割合	50			

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	なし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	本社工場社用車駐車場の一角に、電気自動車用充電設備を1台設置している。社用車に電気自動車の導入なし。
物流の合理化	工場間のトラック運送ルート最適化

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	本社：1999年 丸子：2008年
<input type="checkbox"/> グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/> ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/> デイモンド・リスボンズ (DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	CDP質問書への回答 (サプライチェーンプログラム)	2018～2022

1.6 自由記載欄 (特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

<ul style="list-style-type: none"> ・酸アルカリ中和槽への注水量削減 (稼働状況に応じた調整を行った) ・取引先の当社への納品回数の削減によるCO2削減 (ライフサイクル視点での取組み) ・本社工場エアコン設定温度見直し・管理徹底 ・本社コンプレッサー吐出圧低減計画開始 (P:2022年, D:2023・24年, C:2024・25年, A:2025年) ・低効率のエアコン更新 (2022年4台, 2023年2台予定, 2024年2台予定) ・雨水利用による上水使用量削減 ・長野県植樹祭への協賛 ・廃液蒸留システム導入による水溶性廃液排出量削減 ・MRS (濾過再生処理機) による水溶性廃液の再利用 ・丸子太陽光発電 (PCS出力450KW) 導入・稼働開始2020年～ ・丸子太陽光発電 (PCS出力400KW) 増設・稼働開始2023年～ ・エア漏れビューアー導入 ・エア流量、上水使用量見える化推進中
